

2023年-2024年シーズン

山岳スキー競技国際競技大会派遣日本代表選手・強化指定選手の選考について

(公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会
山岳スキー委員会

I. 権限の所在及び決定の方法

国際競技大会に派遣する日本代表選手（以下「派遣選手」という。）・強化指定選手を選考する最終的な権限は、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「当協会」という。）にある。派遣選手・強化指定選手の選考は、山岳スキー委員会において行い、山岳スキー委員会が推薦し、常務理事会で承認することによって決定する。

II. 日本代表チームの目標

- 1 イタリア 2026 冬季オリンピックにおいて出場枠の獲得を目指す。
- 2 ワールドカップおよびアジア選手権大会、世界選手権大会で、上位をとることを目標とする。
- 3 各種目において日本選手が世界の大会で活躍できる場を創り出す。

III. 2023-2024 シーズン 国際競技大会にむけた強化指定選手の選考について

1 強化指定選手選考方針

2023-2024 シーズン（ISMF 公認大会）の各種目に於いて、別表 2 の強化指定選手選考基準を満たした選手を選考する。

2 国内選考大会

- ・2023年 第16回山岳スキー日本選手権（2023年1月28日,29日実施）
- ・2023年 白馬八方スーパーパーティカル大会（2023年4月9日実施予定）

3 その他、ISMF ルール等が変更された場合および大会要項の変更があった場合には、選考基準も準じて改定を行う。

別表 1 選手選考クラス分け基準表

S 指定	メダルポテンシャルアスリート（前シーズンのワールドカップスタンディングス 8 位以内、世界選手権 8 位以内） ・年齢制限なし・最大人数は 1 チームあたり男女別それぞれ 3 名までとする
A 指定	シニア選手（前シーズンのワールドカップスタンディングス 25 位、世界選手権 20 位以内） ・人数は各種目に出場枠、国枠にあわせて設定する。
シニア指定 (21 才以上)	シニア選手（21 才以上）
ジュニア指定 (16-20 才)	ジュニア選手（20 才以下）
* 備考 *	怪我等の理由による特段の事情がある場合には、選考基準を満たさない場合でも追加指定をする場合がある。

※世界ランキングについては、W-CUP の INDIVIDUAL・SPRINT・VERTICAL いずれかの種目でのランキングを指す

別表 2 強化指定選手選考基準

S 指定	① 前シーズンワールドカップワールドカップスタンディングス 8 位以内、世界選手権 8 位以内の選手
A 指定	① 前シーズンワールドカップワールドカップスタンディングス 25 位以内、世界選手権 20 位以内の選手。 ② 25 位以内の選手がいない場合、前シーズンワールドカップスタンディングス 35 位以内の選手
シニア指定 (21 才以上)	① INDIVIDUAL シニア 山岳スキー日本選手権において 4 位以内の選手 ② SPRINT シニア 山岳スキー日本選手権において 4 位以内の選手 ③ VERTICAL シニア 白馬八方スーパーバーティカル大会において 4 位以内の選手 ④ W-CUP に於いてポイントを獲得 (50 位以内) した選手
ジュニア指定 (16-20 才)	① INDIVIDUAL ジュニア(U20) 山岳スキー日本選手権において 4 位以内の選手 ② SPRINT ジュニア(U20) 山岳スキー日本選手権において 4 位以内の選手 ③ VERTICAL ジュニア(U20) 白馬八方スーパーバーティカル大会において 4 位以内の選手

➤ 強化指定選手選考基準におけるジュニアの対象年齢基準は ISMF に準じ 16-20 才とする。

IV.2023-2024 シーズン 国際競技大会への派遣選手の選考について

- 1 派遣選手は、下の別表 3 の基準を満たした選手を選考する。
- 2 国際競技大会とは、ISMF W-CUP・ISMF 世界選手権および ISMF アジア大会を指す。
- 3 派遣選手の年齢基準は、ISMF に準ずるものとする。
- 4 派遣選手が何らかの理由で出場しない場合、当協会は、当協会の判断に於いて選考大会の上位の選手から繰り上げて派遣することができるものとする。
- 5 派遣選手の人数が出場枠を上回る場合は、選考大会でのタイム順に出場選手を決定する。
- 6 下記基準に該当する選手でも、実力・経験値的に該当する試合の参加レベルに満たないと思われる選手については、最低 8 試合以上のレース経験（種目問わず）を目安としつつ滑降技術その他の経験を総合考慮する。

別表 3 派遣選手選考基準

シニア (21 才以上)	① INDIVIDUAL シニア 山岳スキー日本選手権において 4 位以内の選手 ② SPRINT シニア 山岳スキー日本選手権において 4 位以内の ③ VERTICAL シニア 白馬八方スーパーバーティカル大会において 4 位以内の選手 ④ W-CUP に於いてポイントを獲得 (50 位以内) した選手
ジュニア (16-20 才)	① INDIVIDUAL ジュニア(U20) 山岳スキー日本選手権において 4 位以内の選手 ② SPRINT ジュニア(U20) 山岳スキー日本選手権において 4 位以内の選手 ③ VERTICAL ジュニア(U20) 白馬八方スーパーバーティカル大会において 4 位以内の選手

➤ リレー種目については、SPRINT の選手を対象とする。人数が満たない場合、他種目から選手を補充する。

➤ チーム種目については、INDIVIDUAL の選手を対象とする。人数が満たない場合、他種目から選手を補充する。